

平成29年度 事業計画

① 北海道における河畔林を主体とした自然環境の保全、復元及び活用事業

<保全・復元>

- ・5月～11月は、しのつ河畔林・ニセコ・湯里では、樹木の健全な成長を促進させるため下草刈り、枯れ枝の排除、雀蜂の駆除等の保全管理を行います、又ニセコでは、コクワの剪定作業も実施します
- ・吉国では、南しりべし森林組合と共同で下草刈り、マカバ3,960本植栽、そして森林の更新を考え樹齢30年以上の人工林の間伐を実施します
(下草刈り29.65ha、マカバの植栽1.8ha、間伐2.56ha)
- ・長沼は現状の状態を維持します

<活用>

- ・しのつ河畔林では、団体での活用については事前届出制とし、個人の活用については、原則として自由開放とします

<現地調査>

- ・湯里では、酪農学園大学環境共生学類 宮木雅美教授による現地調査を行い、今後の保全・活用方法についての参考資料とします
調査内容は以下の内容です

森林調査

1) フローラ調査

季節毎に植生群落調査とフローラ（植物相）調査を行い全植物リストを作成、林床植生の変化をモニタリング

2) 樹木調査（毎木・年輪・土壌調査）

3) 動物調査

生息する野生動物の生息状況を調査

② 自然保護思想の普及啓発事業

<ナショナルトラスト運動の普及啓発>

- ・「深く拡がりのある自然との触れ合いを求めて」500冊、「ナショナルトラスト運動の紹介を兼ねたリーフレット」1,000部を増刷しセミナー参加者、来場者、学校等に配布し、ホームページは、随時更新し普及啓発に努めます
- ・ナショナルトラスト運動の普及啓発及び財団所有地として保全したい河畔林、溪畔林の情報収集を兼ねたハガキ1,100枚を送付します

<しのつ河畔林での普及啓発>

- ・一般市民を対象に年3回自然セミナーを計画しております

1回目	春の自然セミナー	6月	50名
2回目	夏休み親子自然セミナー	8月	30名
3回目	秋の自然セミナー	9月	50名
- ・しのつ河畔林文庫を4月20日～11月30日迄 一般に開放します